

会 議 録 (3)

意見・質問者	意見・質問内容
議長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査項目について</p> <p>それでは、議題(1)「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査項目について」事務局より説明をお願いします。</p>
高年齢者支援課主幹 (高年齢者支援担当)	<p>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査項目、在宅介護実態調査項目について、資料に沿って説明する。(資料1-1、資料1-2に基づいて説明)</p>
議長	<p>事務局より説明があったが、意見や質問はあるか。</p>
川名委員	<p>国から示された必須の調査項目は、令和元年度に実施した調査項目と変更点はなかったとのことだが、審議会においての意見や実際に調査を行って気づいた点などを次の調査に向けて県や国に申し立てられるような機会はあるか。</p>
高年齢者支援課主幹 (高年齢者支援担当)	<p>これまでは、次の調査に向けた県や国との意見交換の場というのは特段なかった。今後は、市の方から働きかけていきたい。</p>
木村委員	<p>2点申し上げる。まず、前回の審議会において資料1-1、3ページ問3からだを動かすことについてのQ1～Q3に対する回答の選択肢「2. できるけどしていない」は「話し言葉」であり適切ではないのではないかと指摘させていただいた。その後、事務局の方で調べていただいて、あえて「話し言葉」にすることで、回答者からの率直な回答を引き出しやすくするためだということは先ほどの事務局の説明で理解したが、Q3の2だけが「できるがしていない」と「書き言葉」になってい</p>

	<p>る。訂正をお願いする。</p> <p>次に、同資料12ページ問10その他について「Q8. 介護を理由に仕事を辞めたことがありますか」の設問は、前後の質問からして設問箇所違和感がある。質問の順序を入れ替えるよう検討していただきたい。</p>
<p>高齢者支援課主幹 (高齢者支援担当)</p>	<p>まず、「話し言葉」の方ですが、こちらは、前回の審議会終了後、一度すべて「書き言葉」に修正しており、その後再度すべてを「話し言葉」に戻したつもりだったが、この設問だけそのままになってしまっていた。ご指摘のとおり訂正させていただく。</p> <p>次に、問10その他について「Q8. 介護を理由に仕事を辞めたことがありますか」の設問箇所については、事務局でも違和感をいただいていた部分であった。回答者にとってスムーズに回答を進めていけるよう再度検討する。</p>
<p>原田委員</p>	<p>最近、国の方も介護の総合事業は地域の実情にあわせてなどと宣言している。在宅介護実態調査には、そのあたりを踏まえた項目となっているのか。</p>
<p>高齢者支援課主幹 (高齢者支援担当)</p>	<p>こちらは、国が示したとおりのままであり、そのような市オリジナルの項目は設定してない。</p>
<p>議長</p>	<p>他に意見がないようであれば、議題(1)「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査に係る調査項目について」は以上とする。</p> <p>(2) 入間市老人福祉センターやまゆり荘に関するアンケート</p>
<p>議長</p>	<p>それでは、議題(2)「入間市老人福祉センターやまゆり荘に関するアンケート」について事務局から説明をお願いする。</p>

<p>高齢者支援課主幹 (高齢者支援担当)</p>	<p>入間市老人福祉センターやまゆり荘に関するアンケートについて、資料に沿って説明する。(資料2)に基づいて説明)</p>
<p>議長</p>	<p>事務局より説明があったが、意見や質問はあるか。</p>
<p>木村委員</p>	<p>調査対象者が39歳以上60歳未満とのことであるが、市内に住んでいる全ての人を対象とするのか。また、どのように呼びかけるのか。</p>
<p>高齢者支援課主幹 (高齢者支援担当)</p>	<p>市内在住の方を対象としている。抽出方法としては、住民登録の中から調査対象年齢の方を無作為に1,500人抽出する。回収率は4割程度、600人を見込んでいる。このぐらいの回答を得られればアンケート調査としての正確性や信憑性が得られる。</p>
<p>木村委員</p>	<p>呼びかけ自体は、郵送により手紙で行うのか。</p>
<p>高齢者支援課主幹 (高齢者支援担当)</p>	<p>郵送により行うが、封書により手紙を送付するか選挙の入場券のような葉書を送付するかは検討中である。葉書の方が郵送費用を抑えられるため、こちらの方法で実施したいとは考えている。</p>
<p>議長</p>	<p>こちらのアンケート調査の回答方法には、LOGOフォームというシステムを活用するとのことだが、他市町村でも利用は多いのか。</p>
<p>高齢者支援課主幹 (高齢者支援担当)</p>	<p>LOGOフォームは、自治体専用のプラットフォームであり多くの自治体で利用されている。</p>
<p>瀧澤委員</p>	<p>このアンケートは、施設を利用していない世代を対象としているが、現在施設を利用している方に対するアンケート調査を行うつもりはある</p>

<p>高齢者支援課主幹 (高齢者支援担当)</p>	<p>のか。</p> <p>現在施設を利用している方へのアンケート調査は、指定管理者において実施している。過去に利用したことがあるすべての方を対象とした調査というのは対象者の抽出が難しいため実施は考えていない。</p>
<p>川名委員</p>	<p>アンケートの取り方についての木村委員からの続きになるが、今の世の中においては、60歳以上も含めてこのようなアンケート調査というのは、色々な製品を買った時に必ずついているものであるから、書面で行うよりも葉書の方が入りやすいように思う。私も最近、自分の活動を通じてアンケートを行った。その時の意見では、やはり葉書など軽い方が答えやすいということであった。封書で送付して構えられてしまうよりは、葉書で趣旨だけ説明し、中身については回答フォームにアクセスしたときからわかりやすくする。例えば、やまゆり荘の写真を入れ込む等インターネット上の画面を工夫すればよい。また、経費を減らして1,500人という数よりも、もう少し多くの方に意見を聞いた方がいいという考えがあるのなら、その方がよいと考える。1,500人という数はすごく少ないと思うので、その辺の工夫を是非していただけるようお願いする。</p>
<p>高齢者支援課主幹 (高齢者支援担当)</p>	<p>貴重なご意見であり、検討させていただきたい。</p>
<p>議長</p>	<p>他に意見がないようであれば、議題(2)「入間市老人福祉センターやまゆり荘に関するアンケート」については以上とする。</p>
<p>議長</p>	<p>(3) その他 それでは、議題(3)「その他」について何かあるか。</p>

森本委員	<p>介護保険の次期改正のことについて伺いたい。10月31日の厚生労働省社会保障審議会介護保険部会で給付と負担の話があった。介護保険の自己負担原則2割という話や要介護1の訪問介護、通所介護を総合事業に移行するというような話がいろいろと出ている。市として一番影響が大きいのは、総合事業に移行するということであると思うが、もしそのように決定した場合に現状で市として対応できるのかどうか意見を伺いたい。</p>
介護保険課長	<p>現段階では、具体的に市の方にどういった方向性でというようなものは全く降りてきていない状況である。総合事業の部分で特に難しい部分が出てくるとは思うが、方向性として示されている以上は、その方向で運営していかなければならないとは思っている。</p>
森本委員	<p>まだ決定されていないことではあるが、要介護1の方が困ってしまうような状況とならないような体制づくりを是非していただけたらと思う。</p>
原田委員	<p>地区センター関連のことについて伺う。宮寺・二本木地区、金子地区の地域包括支援センターは移転するのか。また、今後の方向性についても教えていただきたい。</p>
高齢者支援課長	<p>現在、老人福祉センターやまゆり荘内にある宮寺・二本木地区地域包括支援センターは、現在の宮寺公民館が宮寺地区センターとなり、その中に移転する予定となっている。また、金子地区地域包括支援センターは、現在の金子公民館が金子地区センターとなり、その中に移転を予定している。</p>
森本委員	<p>入間市ヤングケアラー支援条例について伺う。条例には、「ヤングケ</p>

<p>高齢者支援課主幹 (地域支援担当)</p> <p>議長</p>	<p>アラーが安心して生活できるよう、ヤングケアラーが担っている過度な家事や家族等身近な者の世話等の負担を軽減するための必要な措置を講じなければならない。」と定められているが、高齢者の部門で何か具体的な施策や方向性などを考えているか。</p> <p>具体的な方向性として、地域包括支援センター等と連携しヤングケアラーになりそうな案件がないか等の情報共有をしている。</p> <p>他になければ、以上とする。</p>
--	---

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和4年12月6日

議長の署名

春名 恭一

議長が指名した者の署名

高山 京子